



きょうりゅう た 恐竜 はどんなものを食べていたの

にくしよくきょうりゅう どうぶつ にく た 肉食恐竜 は、動物の肉を食べた

きょうりゅう は、いま どうぶつ おな にくしよく しよくぶつ た なん
恐竜 は、今の動物と同じように、おもに肉食のタイプ、植物しか食べないタイプ、何
でも食べる 雑食タイプ、と3種類に分けられます。

かせき は、するどいけんのような きょうりゅう からだ おお かんけい にくしよく
化石の歯が、するどいけんのような 恐竜 は、体の大きさに関係なく肉食だったといえ
ます。ティラノサウルスなど巨大な 恐竜 は、ほかの 恐竜 を食べ、いちばん小さい 恐竜
ゆうめい おおがた ちゅう た
で有名なコンプソグナトゥスなどは、トカゲや大型のこん虫などを食べていたようです。

そうしよくきょうりゅう しよくぶつ た 草食恐竜 は植物しか食べない

きょだい きょうりゅう なが くび かぎ いま
巨大 恐竜 のブラキオサウルスは、長い首をふってとどく限りのシダや、ソテツ、今ある
マツやスギのような 針葉樹の木の葉などを、うす型の歯ですりつぶして食べていたよう
きょうりゅう ぜつ まんねんまえ ちか まんねんまえ あらわ
です。恐竜 が絶めつする6500万年前に近い、6700万年前ごろ現れたエドモントサ
ウルスが、ひからびたミイラのような形で見つかった例では、まだ消化されないで残って
しよくぶつ たね くだもの こえだ しんようじゆ は からだ なか はっけん
いた植物の種や、果物、小枝、針葉樹の葉などが、体の中から発見されました。

ざっしよく きょうりゅう い べんり 雑食の恐竜 は、生きのびるのには便利

ダチョウにそっくりの からだ つきで、あし はや し なか
間ストルチオミムスは、歯はなく、くちばしをもっていました。トカゲやこん虫、トガリ
ネズミのような ちい にゅうどうぶつ まる くだもの ひく き えだ は なか
ネズミのような小さいほ乳動物をくわえて丸のみしたり、果物、低い木の枝や葉などを、長
いかぎづめの手でちぎりとして、 た
食べていたようです。

とくてい しよくぶつ た どうぶつ しよくぶつ し
特定の植物しか食べないパンダのような動物は、その植物がかれると死んでしまいま
す。それに比べ、何でも食べられる 雑食タイプの人間のような動物は、どんな かんきょう へんか
でも生きのびやすいといえます。(監修・今泉 忠明)

